

平成19年度
施策体系

人口減少・少子高齢社会に向けて、県民の英知を結集し、
地域、市町村とともに“豊かさを実感できる活力ある県土をめざして”
安全で力強い社会基盤づくりに取り組みます。

主要事業

1 安全で安心な災害に強い県土づくりの推進

重点施策

平成18年7月豪雨災害に伴う諏訪湖周辺の浸水被害対策(河川改修、水門・樋門等設置・改修)、岡谷市周辺の土砂災害箇所の再度災害防止対策を実施
市街地や浸水被害箇所における河川改修、浸水・内水対策を推進
洪水ハザードマップの作成、土砂災害警戒区域等の指定を推進
洪水や土砂災害に関する迅速かつ適切な情報提供体制を強化
道路法面の防災対策、橋梁の耐震補強など、緊急輸送路等の道路機能アップにより災害に強い道路ネットワークを整備
事前調査、地域の合意形成など国・県の連携強化により直轄事業を円滑に実施

河川激甚災害対策特別緊急事業
(諏訪湖周辺浸水被害対策)

河川災害復旧助成事業
(諏訪湖周辺浸水被害対策)

内水対策事業

洪水ハザードマップ作成支援事業

新 砂防激甚災害対策特別緊急事業

総合土砂災害対策推進事業
(土砂災害基礎調査)

災害防除道路事業

橋梁耐震補強事業

道路計画調査事業

2 交流を促進し地域の活力を強化する交通基盤の整備

重点施策

ひとものの交流を拡大するため、基幹的な高規格幹線道路・地域高規格道路や主要な国道・地方道の整備、直轄事業との連携による道路整備を推進
産業・観光の活性化を支援し円滑な交通を確保するため、広域的な道路ネットワークづくりを推進
都市拠点の形成と都市活力の向上のため、都市環状・放射道路の整備、総合都市交通計画策定などにより、市街地の交通ネットワークづくりを推進
日常の暮らしや医療・福祉施設へのアクセスの向上のため、身近な生活道路を整備

3 暮らしやすい活力に満ちたまちづくり、自然と共生する地域づくり

重点施策

魅力的・個性的な都市景観や街なか空間を創出し、安全で快適に暮らせる都市環境を実現するため、街路整備や土地区画整理を推進
高齢者や子どもが安心して歩けるまちづくりを進めるため、歩道の整備・段差解消、危険な踏切の解消を重点的に実施
市街地等における安全で円滑な交通を確保するため、交差点改良を推進
市街地から田園・山間地域まで視野に入れた都市づくり、自然環境や景観に配慮した川づくりを推進

危険な踏切解消事業

沿道やすらぎ環境改善事業

4 計画的な維持管理と社会基盤ストックの有効活用

重点施策

既存の社会基盤の補修費用の平準化や長寿命化を図るため、計画的・効率的に道路・河川・砂防施設等の維持管理を実施
〔道路舗装補修・橋梁補修・河川維持・ダム再開発・堰堤改良〕
〔砂防・地すべり施設等維持修繕 ほか〕
住民との協働、市町村との連携、民間活力の導入による維持管理を一層推進
〔道路・河川アダプトシステム・砂防等維持管理ボランティア〕
〔都市公園指定管理者制度 ほか〕

既存施設を活用した効果的な維持管理事業(河川)

アダプトシステム支援事業
(信州ふるさとの道ふれあい事業)

河川愛護・アダプトプログラム事業

5 地域づくりを支え地域を守る建設業が活躍できる環境整備の推進

重点施策

優良技術者の表彰や新技術・新工法の活用促進を行うことにより、建設業における技術力の向上を支援
公正性・透明性を確保しつつ、地域に根ざし地域に貢献する企業に配慮した入札制度を推進

建設産業技術力向上支援事業